



白幡地区

- ① 集会施設、文化施設
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



地区概要

起伏に富み、戸建て住宅が多い住宅地です。

地区の北側を東急東横線が通っており、地区の西側に近接して白楽駅、東白楽駅があります。地区内の道路幅は狭く、車でたどり着けない場所もあります。

地区の大部分が、重点対策地域(大規模地震時の火災による被害が特に大きいと想定される地域)に指定されています。

地区基礎データ

●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

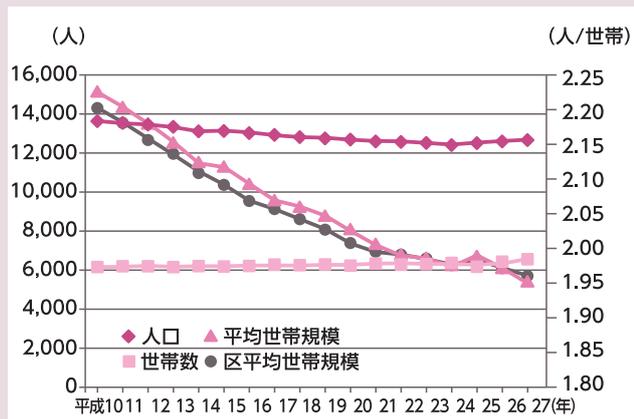
	白幡地区	神奈川区
総人口	12,704 人	232,788 人
0～14歳	1,266 人(10.0%)	27,667 人(11.9%)
15～64歳	7,963 人(62.7%)	155,501 人(66.8%)
65歳～	3,022 人(23.8%)	49,620 人(21.3%)
総世帯数	6,514 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	1.95 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	948 世帯(14.6%)	15,662 世帯(13.2%)

人口と世帯の総数は安定した状態が続いています。

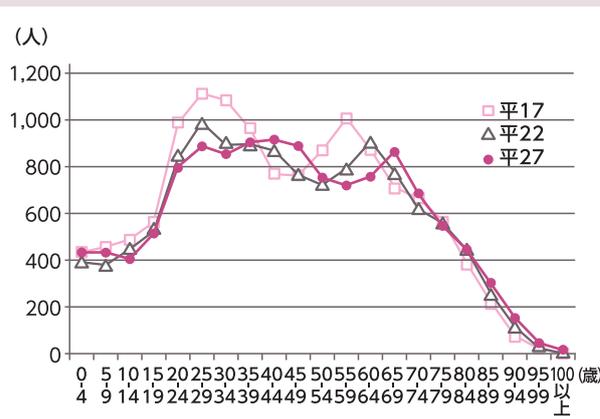
年齢5歳別人口を見ると、平成17年は、20歳台後半と50歳台後半の2つのピークがあるカーブを描いていますが、平成27年は、20歳台のピークが低くなり、40歳台後半までなだらかなピークを描いています。

高齢者の比率が高く、高齢の一人暮らしの世帯の比率も区の平均を上回っています。

●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



●年齢5歳別人口の動向



*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

これまでの取組や課題

高齢者食事会や防犯パトロール、防災対策など、町内会活動はとても活発に行われています。また青年部の活性化や応援隊の編成など、次の担い手につながるような仕組みがある町内会もあります。一方で、白楽駅、大口駅、東神奈川駅に囲まれた丘陵の地形で山坂が多く、木造住宅の密集した地域で道も狭いため、買い物等が不便という声も聞かれます。また高齢化率が区内平均より高く、一人暮らしや老々世帯が多い地域ですが、福祉関係事業者や施設が少ないのが現状です。

目標1

隣近所のつながりから大きな輪を広げよう
向こう三軒両隣から町内会や地区連合へ、地域のつながりを広げていく取組を進めます。

【取組内容】

- ◆班単位の隣近所で顔の見える関係づくり
- ◆多世代交流の推進
- ◆広がりあるつながりづくりの仕掛け



目標2

安全安心なまち・白幡を目指そう

これまで頑張ってきた取組を継続・充実して、だれもが安心して暮らせる白幡を目指します。

【取組内容】

- ◆地域に住む人の防災意識の高揚
- ◆火災や地震等に強いまちづくりの推進
- ◆各町内会での防犯パトロールの継続



つながり 安心 支えあい 白幡

目標3

見守り合いの仕組みをつくろう

さまざまな取組を通して、お互いに見守り合う地域づくりを進めます。

【取組内容】

- ◆さまざまな取組を連携させた見守り活動の強化
- ◆訪問にこだわらない見守りの仕組みづくり



目標4

みんなが活躍できる地域をつくろう

地域の中で誰もが役割をもって活動している地域を目指します。

【取組内容】

- ◆若い世代や男性の地域デビューにつながる仕掛け

